

# 一般質問

## Q：市の活性化対策について

A：財政状況を勘案しながら検討し、市の活性化には重要と認識している。

窪 佳秀議員



### 市の活性化対策及び五條インターチェンジ周辺整備の利用計画について

**窪** 進捗状況について伺う。  
**都市整備部長** 令和2年度から周辺の地籍調査を実施している。

**窪** 市民の声は、市の活性化には道の駅、県南和地域のビクターセンターとしての玄関口が必要と言っているが、考えを伺う。

**都市整備部長** 地域振興を図る上で重要となり得る地域と認識している。事業を行う上で財政負担が必要であり、事業開始は未定である。

**窪** 財政状況は厳しいのは承知している。今のままでは市の衰退を待つだけである。智恵を出し、貸店舗用地等を確保し、商工会と連携し、公募すれば一歩前進すると考えるが、市長の考えを伺う。

**市長** 県南和地域の広域防災拠点の今後を鑑み、五條西インターチェンジとの関係及び財政状況を勘案しながら検討していく。市の活性化には重要と認識している。  
**窪** 広域防災拠点整備はいつのことか分からない。そ

れまで本市の活性化は待てない。市の中心部に位置する五條インターチェンジ周辺整備こそが市の発展、南和地域の発展につながる。市民の声・願いを大切にしたい。

### 自然を生かした活性化対策について

**窪** 金剛山は年間約120万人の登山者がいる。市の活性化につながることはできないのか伺う。

**都市整備部長** 登山道整備、景観づくりを実施すれば登山者は増加する。諸課題はあるがPR方法等を検討し整備についても研究していく。

### 吉野川の有効活用について

**窪** 吉野川の有効活用について伺う。

**都市整備部長** 吉野川祭り、こいのぼり掲揚、川開きフェスタ等や、民間業者によるカヌーやラフティング等に活用している。

**窪** イベントだけでは活性化につながらない。国民体育大会のカヌー会場であった滝町の芝崎付近を中心に

整備し、全国的な大会を誘致してはどうかと考える。次に吉野川の水質について伺う。

**都市整備部長** 大川橋付近での水質測定結果はおおむね環境基準の範囲内であるが、大腸菌群数の値が高く遊泳には不適當である。

**窪** 吉野川のあらゆる地点で水質測定し、水遊び、遊泳ができる地点がないのか調査するべきである。五條が栄えた原点である吉野川は活性化対策には必要である。

### 防災対策について

**窪** 防災行政無線の有効活用について伺う。

**危機管理監** 新型コロナウイルスの感染防止、ツキノワグマ出没への注意喚起、不審電話が多発している地域への生命及び財産に関わる緊急放送を行い注意喚起を行っている。

**窪** 正午の時報や、子供の見守り、不審者情報等への活用について伺う。

**危機管理監** 不審者情報等についても警察等とも連携し、必要に応じ活用を検討していく。

**窪** 避難所の見直しについて伺う。

**危機管理監** 浸水想定区域、土砂災害警戒区域内に避難所を指定しているところもある。安全な避難所に避難をしてもらうよう広報五條等で周知していく。

**窪** 災害の種別により予知できないもの、予知が可能なものがある。平素から想定し、取組が必要であるが大塔ふれあい交流館閉鎖に伴う避難所の見直しについて伺う。

**危機管理監** 大塔ふれあい交流館は令和4年3月末で閉鎖をする。避難所として旧大塔小中学校を改修した上で変更をする。

**窪** 大塔町住民は、慣れ親しんできた大塔ふれあい交流館の一部を避難所として残せないのか、各自治会長からの連名で要望書も提出されている。紀伊半島大水害により住民は、復旧・復興に頑張ってきた。避難所へのアクセス道路付近は土砂災害警戒区域となつていく。県にも対策を要望し、住民の安心安全を念頭においた対応を市長に願う。

Q: 人口減少対策について

A: 五條市ビジョンに基づき取り組みます。



養田全康議員



五條市役所 旧庁舎

市議会議員選挙で再び負託をいただいたこと、市民の皆様にご感謝し誠心誠意取り組みたいと思う。

市所有の土地・建物・道路について

養田 本市で未活用の土地や建物が多く目立つ。所有する土地の面積と未活用地の面積、また建物では市役所旧庁舎をはじめ未活用の施設がどの程度あり、近年の売却実績はどうなっているか。山間部で市道補修を市民が施工していると聞いたが補助金等を考えるべきではないのか。

総務部長

令和2年度末、使用の行政財産が246ヘクタール、売り払いや貸付け可能な普通財産が206.9ヘクタールとなっている。建物は320施設で未活用施設が30施設である。売却は法定外公共物を除くと平成29年度の1件である。市道補修の補助金は今後研究を行う。

養田 未活用で今後も使用予定がない土地や建物を塩漬けにするだけでは管理コストがかさみ財政を圧迫させる。売却や貸付けなど有効な手立てを取るべきである。

総務部長 売却、貸付けを積極的に行いコストの縮減と収入増を図り、財政健全化につなげてまいらる。

人口減少対策について

養田 平成29年に確認した41件の倒壊が懸念される空き家で特定空き家に指定されている建物はあるか。また農用地で耕作放棄地が増え、管理に対し対策が必要と思うが考えを伺う。

え、管理に対し対策が必要と思うが考えを伺う。

産業環境部長

指定している空き家はない。荒廃農地調査では5年間で10.4ヘクタール増加している。対策としては、例えば、農地を担い手に集約するという目的として、一定以上の農地を農地バンクに貸し付けるといような制度もある。耕作放棄地解消に向けた取組につなげていきたいと考えている。

養田 現状を把握し早急な対策をお願いする。人口減少対策でも他市にない先進的な取組を実施しないと歯止めが掛からないと考えるが、対応を伺う。

産業環境部長

五條市ビジョンに基づき取り組む。

五條市ビジョンについて

養田 五條市ビジョンでPDCAサイクルを実施することとなっている。事業の必要性、予算、労働実態をどう

のように調査や評価しているのか。

理事

外部の有識者で構成される五條市ビジョン推進懇話会において外部評価や追加・変更など意見を聞くことになっている。

市職員の労働状況について

養田 時間外勤務が異常に多い職員がいる。公務員は適用されないが、労働基準法で一日8時間で週40時間と決まっていますが、36協定により臨時的に労働できるとあるが、五條市職員で月100時間を超える時間外勤務もあると聞く。改善するべきであるが、考えを伺う。

市長公室長

業務の効率化や市民サービスの向上が実現することを目指し、働き方改革に取り組んでいるところである。



# 一般質問

## Q: 有害獣対策について

A: 新たな試みとして、ドローン等を活用した追払いを計画している。



岩本 孝議員

### 有害獣対策について

**岩本** 私がテーマとして取り組んでいる有害獣対策について、令和2年度の有害獣の捕獲頭数を伺う。

**産業環境部長** 有害獣の捕獲実績は、イノシシ1,400頭。鹿522頭。アライグマ159頭、合計2,081頭である。令和元年度より239頭多く捕獲した。

**岩本** 有害獣からの被害を軽減するには継続した取組が必要である。令和2年度の鳥獣被害防止対策事業（防護柵）の内容を伺う。

**産業環境部長** 鳥獣被害防止対策事業（防護柵）において、令和2年度実績として46団体、延長73キロメートル、事業費8千9百万円の整備を実施した。継続した取組の結果、令和2年度の被害金額は、5年前の平成27年度と比較して約1千7百万円減少している。

**岩本** 令和3年度の防護柵

の事業計画について伺う。

**産業環境部長** 防護柵の整備事業は、各集落からの要望を基に40団体、延長5キロメートル、事業費約8千5百万円で整備を進めている。ソフト事業としては、

国から交付される約1千百万円の補助金を活用して、捕獲活動に対し、継続して支援金を交付している。

**岩本** 有害獣被害を減少するには継続した捕獲が必要であり、そのためには担い手の育成が大事である。その現状を伺う。

**産業環境部長** 令和2年度の新規狩猟免許の取得者数は14名。高齢化のため捕獲従事者が減少している。よ

り多くの有害獣の捕獲のため、新規事業として、わな

の見回り・餌やりなどの捕獲活動を支援するサポート隊を結成するなど、体制の充実を図っている。アライグマについては、捕獲従事者講習会を令和3年5月に

開催し、106名の方に受講していただいた。

**岩本** 昨年度は、コロナ禍による移動制限・飲食店の時短営業など販売額に影響があったと思うが、ジビエール五條の販売実績額を伺う。

**産業環境部長** 令和2年度の販売総額は、1千69万円。令和元年度より37万円の増額である。カレー等の加工品やスライスのパック詰めをインターネットで販売するなど、商品の多様化・販路の拡大に取り組んだ結果、

家食の増大ニーズをしっかりとつかんだ結果と分析している。

### 豚熱について

**岩本** 県内・近隣市町村で豚熱が発生していると聞くが、本市の状況はどうなっているのか伺う。

**産業環境部長** 本年5月に県から、市内で自然死したイノシシから豚熱の陽性を確認したとの連絡を受け、

即座にイノシシ肉の出荷を見合わせた。鹿肉はジビエール五條の施設内消毒後に加工販売を継続している。その後、

6月と10月に市内25か所の山中にイノシシ用経口ワクチンを他市に先駆け散布した。6

月に降に捕獲したイノシシを血液検査した結果、現在まで陰性の事例が続いている。

**岩本** 大塔地区等山間部ではニホンザル被害に困っていると聞いているが、取組状況を伺う。

**産業環境部長** ニホンザルは狩猟の対象に含まれないので、本市の有害獣駆除事業において駆除している。ニホンザルは、木登り、ジャンプ等が得意で学習能力も非常に高く、捕獲が困難な状況が続いている。新たな試みとして、ドローン等を活用した追払いを計画している。

